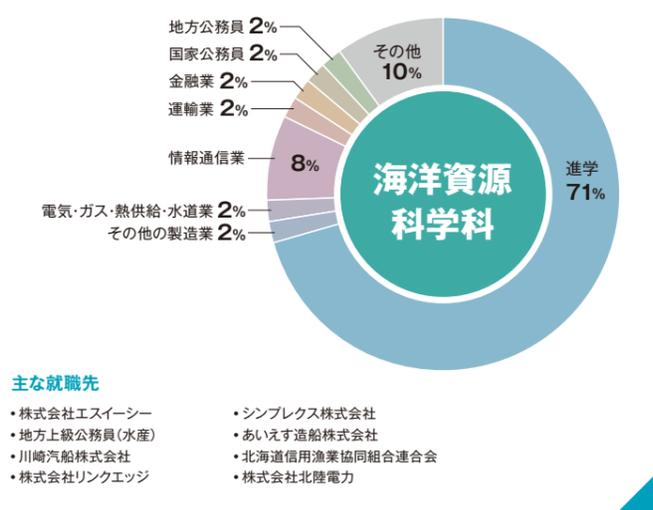
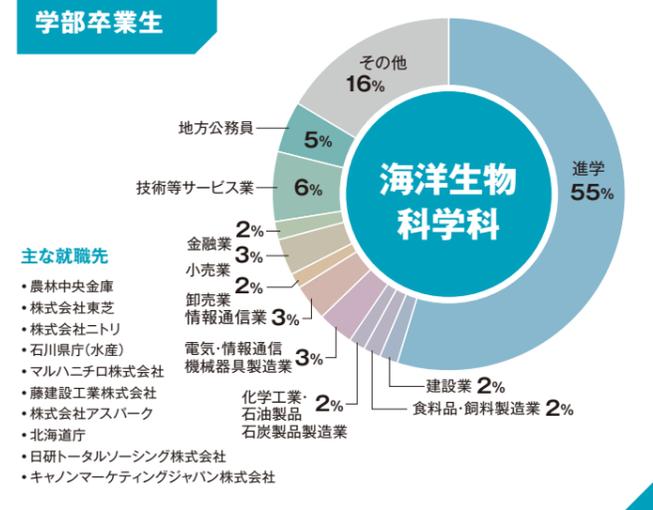


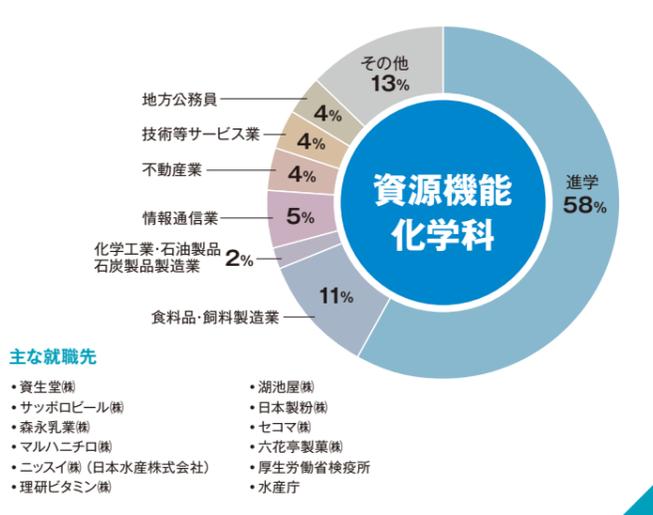
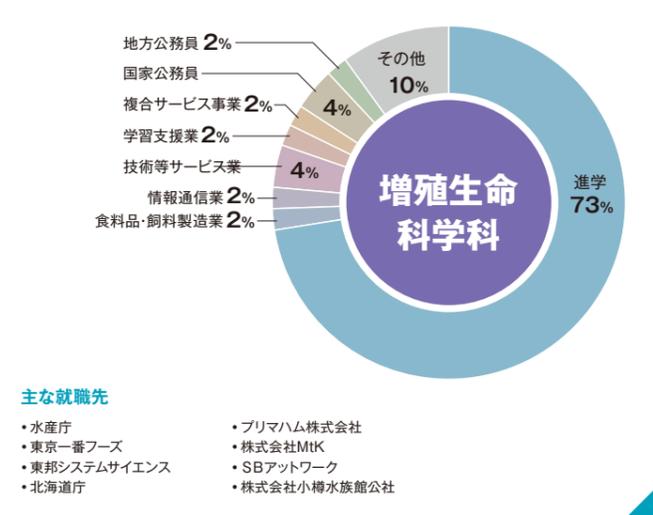
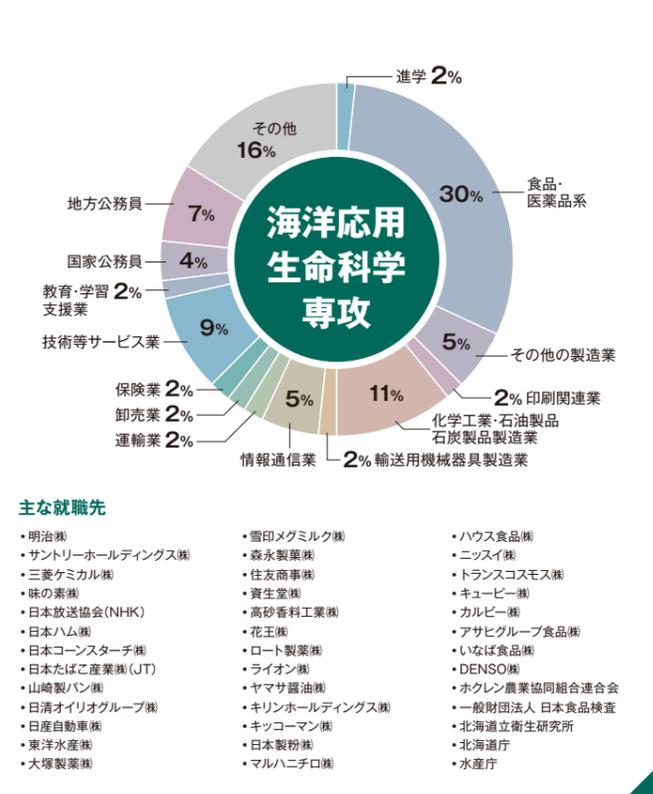
主な進路と就職先

CAREER PATHS AND EMPLOYMENT

学部卒業生



大学院卒業生



机上の知識だけでなく、洋上実習などの実践的なフィールドワークも多く取り入れている北大水産学部の卒業生は、乗船や卒業研究などで培われた強靱な精神力と活動力、物事に臨機応変に対応できる柔軟な能力などが評価され、社会のさまざまな分野で活躍しています。世界の舞台で活躍する卒業生も数多くいます。当学部で学ぶ水産科学は、専門的かつさまざまなことに応用されている分野で、国際的にも高い評価を得ています。したがって水産関連業界だけではなく公務員をはじめ企業などの注目度も高く、就職における業種は極めて多様にわたります。また、卒業後の進路は就職だけではなく、本学の大学院や他大学、各種研究所に進む他、希望や目的に合わせて、さまざまな選択を行うことができます。

卒業生インタビュー動画 >>>>>

MESSAGE from GRADUATES

MESSAGE 01

2016年 水産科学院卒業
海洋生物資源科学専攻修士
パシフィックコンサルタンツ株式会社
九州支社 社会イノベーション事業部
総合プロジェクト室 主任
立松 俊和

北水の乗船実習で、広大な海を悠々と泳ぐシャチの群れに出会い、大興奮したことを覚えています。生態系の頂点に立つ種は多くが絶滅の危機にあります。私は自然と自然がもたらす感動を後世に残したいと考え、現在の職に就きました。目立たない職業ですが、開発事業の裏方として環境保全に暗躍する、面白い仕事だと思っています。北水は、見渡してみれば様々な体験、挑戦の場に溢れています。皆さんも自分だけの体験を見つけてみてくださいね。

MESSAGE 02

2019年 水産科学院卒業
海洋応用生命科学専攻博士
北海道立総合研究機構
網走水産試験場 加工利用部 主査
笹岡 友季穂

「水産」学部という響き、地味で古臭いイメージありますよね。なんで海洋学部じゃないの。例えば、海と一言で言っても緯度経度によって水温が違い、水流があり、地形や深さも違う。環境の違いが棲む生物の多様性を生み出し、生物がもつ特徴や成分も違ってきます。ワクワクしますよね。「水産」学はここからが本番。海を取り巻くすべてのものから、人に役立つものを見つけ出し、研究し、加工する。全然地味じゃない、人のための学問が水産学です。あなたも水産学部に、水産学にハマってみませんか？

MESSAGE 03

2017年 資源機能化学科卒業
クオリサイトテクノロジーズ株式会社
産業ビジネス2部 システムエンジニア
後藤 祐輔

私は化学が好きで、水産学部に入り「新しい薬に繋がる有機化合物」の研究をしていました。自然を相手にするという特性上、理論的には上手くいくはずでもそうではないことが多く、試行錯誤する癖がつきました。就職では新しいことに挑戦する機会が多いIT業界の仕事に惹かれシステムエンジニアになりました。プログラミングは未経験でしたが、入社後6カ月の新人研修で技術を習得できました。今は5人のチームでシステムの開発・保守を行っており、私はプロジェクトリーダーの役割を担っています。「北海道で働き、貢献できる」「成長や挑戦の機会が多い」という会社の理念や働き方は、自分にとって満足度が高いと感じています。様々なことを経験し、考えることそれ自体に価値があるので、ぜひ自分から色々なことに挑戦してみてください！

MESSAGE 04

2020年 海洋生物科学科卒業
姫路市教育委員会事務局生涯学習部
姫路科学館 学芸・普及担当
宮下 直也

水産学部に入ったのだから、研究で練習船に乗りたいと思い、海洋生物地球化学の研究室に入りました。私は噴火湾で有機ガスの研究に取り組みました。寒い日も暑い日も海に出て水や泥を採ったのは良い経験です。フィールドでの体験は当事者にしか語れない臨場感があり、姫路科学館での普及教育で大いに役立っています。経験だけでなく、研究を通じて養う論理的思考力や課題解決力はあらゆる場面で活きてと思います。ぜひ、海のフィールドでいろんな力を養ってください！